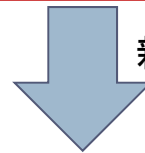


- 限られた資源や漁場を効率的に利用するとともに、漁業経営体の経営を安定させるため、複数の漁業種類等を組み合わせるなど、漁業経営にはこれまで以上の工夫が必要。
- これまでは、①経営体が営んだすべての漁業種類、②そのうち販売金額が1・2位の漁業種類、③個人経営体の世帯員の海上作業日数が最も多い漁業種類、④動力漁船の販売金額が最も多い漁業種類を把握。



新たな取組

- ② 個人経営体及び団体経営体について、販売金額が多い順に1位～3位までの漁業種類を把握。

また、販売金額が多い順に1位～3位までの魚種を把握。

	1位	2位	3位
	161	162	163
年間販売金額が多かった 全国漁業種類番号	1 : : :	1 : : :	1 : : :

	1位	2位	3位
	171	172	173
年間販売金額が多かった 魚種番号	: : :	: : :	: : :

- ③ 個人経営体の世帯員及び団体経営体の一定の者について、海上作業日数が多い順に1位～3位までの漁業種類を把握。

経営主	海上作業において責任のある者（役員に限る）						性別	出生の年月				漁業従事日数 （陸上作業を含みます）	海上作業日数	海上作業日数が多かった漁業種類			た10月 海上作業 に行つた	陸上作業						
	漁船主	船長	機関長	養殖場長	その他	の海上作業に 関係する者		該当する元号に記入 年月を記入						1位	2位	3位								
	①	②	③	④	⑤	⑥		⑦	⑧	⑨				⑩	⑪	⑫			⑬	⑭	⑮	⑯		
該当するすべてにマーク							いずれかに マーク	大正	昭和	平成	年	月	（日）	（日）	全国漁業種類番号を記入			該当するすべてにマーク						
601	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	1	:	1	:	0	0
602	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	:	:	:	:	:	1	:	1	:	1	:	0	0

注：調査事項は、団体経営体用のもの。個人経営体の世帯員の調査事項も同様。

- ④ 個人経営体及び団体経営体の動力漁船ごとに、販売金額が多い順に1位～3位までの漁業種類を把握。
また、出漁日数についても多い順に1位～3位までの漁業種類を把握。

過去1年間に使用した動力漁船 (借りた船を含みます。)				11月1日現在で持っている漁船 (借りている漁船は含み、貸している漁船は含みません。)					
総トン数 (小数第1位まで記入し、小数 第2位を切り下げてください。)		11月1日現在 持って 持っていない	過去1年間の 出漁日数	出漁日数が多かった漁業種類			販売金額が多かった漁業種類		
①		②	③	1位	2位	3位	1位	2位	3位
①		②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
万 千 百 十 (トン) ↓		いずれか にマーク	それぞれの動力 漁船ごとに日数 を記入 (日)	全 国 漁 業 種 類 番 号 を 記 入					
401	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0	・ ・ ・ ・	1	1	1	1	1	1
402	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0 0	・ ・ ・ ・	1	1	1	1	1	1